稱		2 山 耳 業属性	方令	₩ 4	年度	事系	多事	業評	あシ	ート				(単位	立:千円)
<u>'</u>		業名	総合案内窓	二 四運営事業								事業コード	820212		
			基本政策		とりが、まちづ	くりの担い	手となり、ほと	 ごよい力加減で	助け合うまち	政	策目標 2 持続)確保	
	政策	体系	施策名	1 日常の生活	ニーズに応じ	た外出・訪	問サービスの	確保				施策コード	121		
	事業	担当	所属	05030000 市民						Ē	所属長 横山 尚	6子			
		情報	款	02 総務費			費目		14 諸費		計 01 一般会		付属資料	92	頁
	計画	·····································	開始年度	平成25年度	終了予定年	度 令和		関連計画名				F	4現在の状	:況 継	
	根拠流	法令等													
	事業	区分	□ 法定受	託事務 □	国府補助事	 業] 市単独事業	■ □ 内部	 庶務的事業	□ その他	()
	関連	事業									<u> </u>				
Ш	事	 業基礎情	·報												
	施策実現	:目的 見に向けて たす役割)	市役所に来	₹庁された方の「彳	うき先がわか	らない」なと	での不安を取り	り除き、スムーン	ぐに来庁目的	を果たしてい	ただけるよう、適な	のな案内を行	行う。		
	対針	象者	市民等来庁	者				対	象者数	76,037	単位あ	うたりコスト		0.1	
	実施	方法	☑ 直接実	施	務委託	□ 指定管	管理 口	補助金交付	□ ₹	-の他 ()
委	托先·身	尾施主体等													
		概要		・フロアマネージ・ 来庁される方に寄			こ配置し、行き	き先が不明なた	に対して、該	当の課に案内]する。案内におし	ヽては、必要	そであれば	(こちらから)	声かけを
			支出に	係る主な費目	支出実績	(R3)				主な業	務内容				
			報酬			1,852 臨	時職員報酬	2人							
		出に係る	職員手当等	Ŧ		124 臨	時職員職員	手当等 2人							
, a	R 435 P3 4	容と経費	需用費			21 必	要消耗品(事	務用品)							
	予:	算執行状 分	.況 	R2(評価前年度)		R3(評価年	度)		R4(本年)	变)		R5(要3	花年度)	
	① 当	i初予算			2,619			2,58	5		3,069				3,381
予	② 補	正予算			0				0		0				0
算情	3 繰	越予算			0				0		0				0
報		前年度繰越			0				0		0				0
		次年度繰越			0				0		0				0
	小計((1)~(3)			2,619			2,58	5		3,069				3,381
予	① -	·般財源			1,518			1,48	4		1,947				2,259
箅	② 国	支出金			0				0		0				0
財源	-	支出金			0				0		0				0
内訳	④ 地				0				0		0				0
	_	の他特財			1,101			1,10			1,122				1,122
決	_	充用額 			△ 246			Δ 9							
算情		当予算			2,373			2,49							
報	③ 執				2,372			1,99							
	4 執① 従:		0.10		100.0%	0.15		80.2		. ,	0.05	0.00		/ 0	
人概 工算		事職員数 / 非常動概託職員) [算人件費	0.16	/	0.25	0.15	/	0.25	0.15	j /	0.25	0.00	/	/ C	0.00
<u> </u>	ータノ	レコスト			1,905 4,277			3,82			1,825				0
(予:	异執行額	+概算人件費)		案内表示広告料	L			雑入			1	101		44	
		用特財	特財名称	**1X**/A**	1			74/		 実績金額	1,	決算·	-77	頁	

成果実績	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
(アウトカム)	対応者満足度		%	95	/	100	97	/	100	98	/	100	/	100	
実績/目標	声かけ実数		人	3097	/	3500	3182	/	3500	3,838	/	3500	/	3500	
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動実績	窓口対応者数		人	30061	/	36000	33950	/	36000	30,709	/	36000	/	36000	
(アウトプット)		単位あたり=	スト		0.1			0.1			0.1				
実績/計画	フロアマネージャ	7一数	人	2	/	2	₁ 2	/	2	2	/	2	/	2 総	合案内窓口運営事業
		単位あたり=	スト								998.5				

☑ 事業の見直しなし

□ 廃止/休止

(統合事業名: —

□ 現状維持

□ 他事業を統合

VⅢ 予算反映結果

予算反映結果

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
	・市民や社会のニーズを的確に捉えが	年間の窓口対応者数により、多くの来庁者からの求めに応じることができる事業である。 た事業か	
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施する。できない事業か	ことの	
	・目的・目標の達成手段として適切で 優先度の高い事業か		☑ 高い
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	・平成29年度よりフロアマネージャーを1名減員し、2名体制(臨時職員)とした。 ・開庁時間中は、常時対応が可能となるように、フロアマネージャー2名で充足できない場合は、その他の正規職員、嘱託職員が兼務して、フロアマネージャーとして従事し、業務の	□ やや高い
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	対率化を図っている。	□ やや低い
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
	・成果目標は理にかない、実績は適切 把握・測定されているか	切に 毎年、案内をした方にアンケートを実施し、適確に案内が実施できたかどうか、また、案内 の仕方について、気持ちの良いものであったかどうかを確認している。課内で閲覧し、必要 性について、課内の職員が市民のニーズを把握するよう努めている。	
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか		
	・先行事例の分析や外部資源の活用 十分行われたか	は に比べて減少した一方で声かけ実績は前年度に比べて増加した。総合案内窓口横に設置している駐車	
定性的な面も 含めた自己評価 及び現状の課題	答された。総合案内窓口での職員の ジャーに対し、「こちらが声をかける前 た」等の感謝の声も寄せられた。アン	約3万人の案内利用があった。同年度に実施したアンケートでも満足度(必要と感じるか)には88%の方かあいさつや声掛け、言葉遣いや身だしなみについても、居ぼ100パーセントの方が満足しているとの回答にに声をかけてくださり、非常に助かりました」や「どなたに尋ねたら良いか分からないのであった方が安心ケート結果を鑑みてもフロアマネージャーの必要性は高い。来庁者の最初の対応者となる総合案内窓口っすい気持ちになっていただけるように努める。	であった。フロアマネー いです」「丁寧な対応で
改善 策	今後もアンケートの実施により、事業の解決に努める。	の必要性、有効性の把握に努めていくとももに、全員の方に満足いただけるように、職員間の報告・連絡	₹・相談を密に行い、早
VI 二次評価(:	事業所属外による他部署部	平価)	
事後評価コメント		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
VII 評価をふまえ	た次年度事業方針		
	方針区分	評価を踏まえた見直し内容	
Les als Rev	□ 事業の見直し		
担当課の 事業の見直し	□ 統合/組換		
学末の元直し	·		
テ来の元直し 及び 予算要求方針	□ 廃止/休止	アンケート結果からも必要性の高い事業と考え、昨年度と同様の人員規模で予算要求を行う。	

☑ 予算縮減

) □ 他事業へ統合 (統合先事業名: —

口 予算拡充

(単位:千円)

福知山市 令和4年度事務事業評価シート | 事業属性

事業名	戸籍等事務	事業									事業コード	810280		
政策体系	基本政策	1 市民一人ひと	りが、まちづ	くりの担い手となり、	ほど	よい力加減で	で助け合うまち		政策目標	2 持続	性のある移	動手段の研	企保	
以来许求	施策名	1 日常の生活	ニーズに応じ	た外出・訪問サービ	スの	確保			•		施策コード	121		
事業担当	所属	05030000 市民紀	総務部 市民	課					所属長	横山 尚	j子	_		
会計情報	款	02 総務費	項 03 戸籍	籍住民基本台帳費	目	01 戸	籍住民基本台	帳費	会計 0	1 一般会	計 決算付	属資料	96 •98	頁
計画期間	開始年度	昭和元年度	終了予定年	度 令和8年度	関	連計画名	_				R	4現在の状況	継続中	1
根拠法令等	戸籍法、住	基法												
事業区分	☑ 法定受	託事務 🗆	国府補助事	業 □ 市単独	事業	□ 内部	邓庶務的事業	□ その	D他 ()
関連事業	戸籍総合シ	ステム等改修事	<u>業</u>			•								
		·		·									· ·	

事業基礎情	————— 報							
事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	・戸籍届出の審査・受理後、) ・住所異動の届により、住所 ・窓口では迅速、親切、丁寧	関係の公証や教育、	福祉、徴税など、権利の行	行使及び義務の				
対象者	戸籍:福知山市に本籍がある	人 住基:福知山市	に住民登録がある市民	対象者数	170,654	単位あたりコスト	0.7	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務	務委託 □ 指定	E管理 □ 補助金3	交付 □	その他 ()
委託先·実施主体等	株式会社ケーケーシー情報	ンステム、富士フイル	ムシステムサービス株式	会社等				
事業概要 (箇条書き)	・住民異動及び戸籍に関わる・マイカードの普及を積極的・戸籍システム、住基システム	こ推進し、証明書自動	が交付機での交付率を高る	め、毎週水曜日	は窓口業務の時間延長を	- E行い、市民の利便性の	の向上を図る。	
	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容			
	使用料及び賃借料	14,808	電子計算機賃借料					
主な支出に係る	委託料	7,036	システム保守業務委託料	4、整備費				
業務内容と経費	報酬、職員手当等	5,669	臨時職員の雇用(4人)					
	需用費	2,390	消耗品費、印刷製本費(PPC用紙、証明]書用紙等)			
	役務費など	765	電話料、郵送料など					

Ⅲ 予算執行状況

		区分		R2(評価前	年度)		R3(評価年	度)		R4(本年月	E)	R5(要:	求年度)	
	1	当初予算			30,948			30,879			31,815			32,886
予	2	補正予算			0			0			0			0
算情報	3	繰越予算			0			0			0			0
報		前年度繰越			0			0			0			0
		次年度繰越			0			0			0			0
	小言	th(1)~(3)			30,948			30,879			31,815			32,886
予	1	一般財源			0			0			0			0
算 財源 ・	2	国支出金			310			447			447			447
源	_	府支出金			87			83			83			83
内訳		地方債			0			0			0			0
D/\	5				30,551			30,349			31,285			32,356
決	-	流充用額			0			83						
決算	-	配当予算			30,948			30,962						
情報	-	執行額			30,637			30,668						
		執行率			99.0%			99.1%						
人概	_	従事職員数 (正職員 / 非常動螺託職員)	9.70	/	0.50	10.03	/	0.85	10.03	/	0.85	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費			78,850			82,365			82,365			0
		タルコスト _{行額+概算人件費)}			109,487			113,033			82,365			0
				戸籍住民書	手数料			総務手数料			29,71	2	12	
		な利用特財 1年度実績値)	特財名称	中長期在領	留者住居地届出等事	≨務	種類	総務費国庫委託	金	実績金額	47	/1 決算付属資料	22	頁
				臨時運行討	午可申請手数料			総務手数料			29	95	14	

成里宝籍	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	戸籍受付数(本	+非本+送付)	人	4160	/	5000	4178	/	5000	4231	/	5000	/	5000	5000
美模/日標					/			/			/		/		
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動宣籍	戸籍、住基等事	務研修		1	/	4	3	/	4	1	/	4	/	4	4
活動実績(アウトプット)		単位あたりコ	スト	;	31547.5			10212.3			30668.0)			
実績/計画					/		3	/			/		/		戸籍等事務事業
		単位あたり〓	スト												

□ 現状維持

□ 他事業を統合

予算反映結果

□ 廃止/休止

(統合事業名: —

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指 に対する貢献度
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事	市の固有事務と位置付けられた必要な事務である。	
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することできない事業か	の窓口業務については必要最低限の人数で対応している。	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		☑ 高い
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	戸籍の証明手数料は、地方公共団体の手数料の標準に関する政令にならい定めており、 標準的な金額である。 現状の人員で効率的に窓口業務等を遂行している。	□ やや高い
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	戸籍は地方自治体の主体となる住民について身分関係を記録し、管理することにより行政 施策にあたっての基盤資料となる。 また、市民社会経済活動において、戸籍の証明書等により身分を公証する基盤となる。住	
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	基は住民の居住関係等を記録し管理することにより、行政施策の基礎的な資料となる。 窓口での待ち時間ができる限り短縮できるように、スムーズな証明書発行、交付ができる ように努める。多くの郵送請求など取り組んだ。	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか	○・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	〔評価〕 戸籍電算システム及び住基システム等を	・ 利用し、業務が適切に、かつ、迅速で親切、丁寧、また、同様の住民サービスの提供が実施できてし	い る。
	〔課題〕		
定性的な面も	迅速で、親切、丁寧な同様の住民サービ ンテナンスを実施続ける必要がある。	えを提供するため、戸籍電算システム、住基システムにトラブルが発生した場合は、即時対応が可能	となうようにシステ
含めた自己評価	ンプラスと人がといい、ひとくないので、		
及び現状の課題			
及び現状の課題	保守契約を結び、トラブル発生時に迅速	で速やかに対応できるようシステムベンダーと体制を整え、適切かつ正確・安全なシステムの運用管:	理を行う。
及び現状の課題	保守契約を結び、トラブル発生時に迅速	で速やかに対応できるようシステムベンダーと体制を整え、適切かつ正確・安全なシステムの運用管	理を行う。
及び現状の課題	保守契約を結び、トラブル発生時に迅速	で速やかに対応できるようシステムベンダーと体制を整え、適切かつ正確・安全なシステムの運用管	理を行う。
及び現状の課題	保守契約を結び、トラブル発生時に迅速	で速やかに対応できるようシステムベンダーと体制を整え、適切かつ正確・安全なシステムの運用管	理を行う。
	保守契約を結び、トラブル発生時に迅速	で速やかに対応できるようシステムベンダーと体制を整え、適切かつ正確・安全なシステムの運用管	理を行う。
	保守契約を結び、トラブル発生時に迅速	で速やかに対応できるようシステムベンダーと体制を整え、適切かつ正確・安全なシステムの運用管	理を行う。
	保守契約を結び、トラブル発生時に迅速	で速やかに対応できるようシステムベンダーと体制を整え、適切かつ正確・安全なシステムの運用管	理を行う。
改善策	保守契約を結び、トラブル発生時に迅速事業所属外による他部署評価		理を行う。
改善策		新)	理を行う。
改善策		新)	理を行う。
改善策		新)	理を行う。
改 善 策 / 二次評価(ご	事業所属外による他部署評価	新)	理を行う。
改善策 二次評価(新)	理を行う。
改善策 二次評価(事業所属外による他部署評価	番) 事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	理を行う。
改 善 策 二次評価(ご 本でででである。 評価をふまる 担当課の	事業所属外による他部署評估 をた次年度事業方針 方針区分	番) 事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	理を行う。
 改善策 二次評価() 事後評価コメント 評価をふいまえ 事業の見び みび 	事業所属外による他部署評価 た次年度事業方針 方針区分 □ 事業の見直し	番) 事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	理を行う。
本 善 策 () 二次評価() 事後評価コメント 単 課の 事業の見直し	事業所属外による他部署評価 た次年度事業方針 方針区分 □ 事業の見直し □ 統合/組換	番) 事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	理を行う。

口 予算拡充

☑ 予算縮減

) 口 他事業へ統合

(統合先事業名: —

福		知山 事業属性	令	₩4.	年度	事	務事	<u> </u>	業評	位	らシ	- 1	•					(単位:	千円)
	1	事業名	窓口効率化推	進事業											事第	美コード	810211		
		****	基本政策 1	市民一人ひと	らりが、まちづ	くりの担	い手となり、	ほど	よい力加減	ずで助!	ナ合うま	ち	政策目	標 2	持続性の	ある移!	動手段の確	保	
	πS	(策体系	施策名 1	日常の生活	ニーズに応じ	た外出・	訪問サービ	スの	確保						施領	きコード	121		
	#	業担当	所属 05	100000 市民紀	総務部 情報	推進課							所属县	藤	田正美		ı		
	会	計情報	款 02 8	総務費	項 0	総務管	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	目		01 —	般管理	 費	会計	01 —	般会計	決算付	属資料	60	頁
	Ħ	·画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年	度	令和3年度	関	連計画名	第13	次情報	システム最適	i化計画			R4	現在の状況	廃止/(休止
	根	拠法令等														ı			
	車	業区分	□ 法定受託	事務 🗸	国府補助事		□ 市単独	事業	口内	部庶務	务的事業	E □ その)他	()
	関	連事業																	
Ш	died.	事業基礎情	 報																
	事	「業目的 実現に向けて 「果たす役割)	引っ越しや結婚 役所滞在時間														手続きの迅	速化や市員	民の市
	3	対象者	市民							対象	者数	78,0	000	単	単位あたり	コスト		0.0	
	実	建施方法	□ 直接実施	☑ 業剤	务委託	口 指別	定管理		補助金交付	付		その他	(,)
委託	先	·実施主体等	福泉(株)																
		「業概要 「条書き)	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ナビ」導入に	合わせて、ナ	ご掲載く	ページの構成	変更	E	ナビク	デーション	ンを構築							
			支出に係る	を主な費目	支出実績	(R3)						主	な業務内	容					
			委託料			836	ホームペー	ジに	「申請・手続	売きナヒ	ご」構築								
		支出に係る																	
3	務	内容と経費																	
Ш	3	予算執行状	況																
	Z	分	R2	(評価前年度))		R3(評	価年	度)			R4(本	年度)				R5(要求年	度)	
	1	当初予算			0					873					0				0
	2	補正予算			0					0					0				0
算情	3	繰越予算			0					0					0				0
報		前年度繰越			0					0					0				0
		次年度繰越			0					0					0				0
	小計	h(1)~3)			0	0		873					0				0		

	Z	1 并 秋 11 1八		R2(評価前4	丰度)		R3(評価年	度)		R4(本年)	E)	R5(要	求年度)	
	1	当初予算			0			873			0			0
予	2	補正予算			0			0			0			0
算情報	3	繰越予算			0			0			0			0
報		前年度繰越			0			0			0			0
		次年度繰越			0			0			0			0
	小計	(1)~ (3)			0			873			0			0
予	_	一般財源			0			437			0			0
算財源		国支出金			0			0			0			0
源		府支出金			0			436			0			0
内訳		地方債			0			0			0			0
- D/C	_	その他特財			0			0			0			0
3	_	流充用額			0			0						
算	2	配当予算			0			873						
決算情報	3	執行額			0			836						
		執行率			0.0%			95.8%						
人概		従事職員数 職員/非常動嘱託職員)	0.00	/	0.00	0.28	/	0.00	0.00	/	0.00	0.00	/ 0	0.00
工算	2	概算人件費			0			2,240			0			0
		アルコスト (預集の)			0			3,076			0			0
		T. (T.) 4 + D. (きょうと地域	連携交付金			総務費補助金			2	284	24	
(N	王な 一1:	利用特財 年度実績値)	特財名称				種類			実績金額		決算付属資料		頁

成里宝籍	指	標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	「申請・手続きナ	ビ」活用件数	件	/	/	2933 / 1500	/ 2000	1500
天模/日保				/	/	/	/	
	指	標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
活動電纜	「申請・手続きナ	ビ」導入	-	/	/	1 / 1	/ -	1
活動実績(アウトプット)		単位あたりコ	スト			836.0		
実績/計画				/	5 /	/	/	窓口効率化推進事業
		単位あたり二	コスト					

評価の観点

項

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針

VII 予算反映結果

予算反映結果

☑ 統合/組換 □ 廃止/休止

□ 現状維持

□ 他事業を統合

□ 事業の見直しなし

□ 廃止/休止

(統合事業名: —

B

	・市民や社会のニーズを的確に捉えた	行政手続きの迅速化や市民の市役所滞在時間短縮するため、市民が来庁前に容易に手た事業か 続きについて調べ・準備できる環境をICTを活用して構築した。	
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施する。 できない事業か	ことの	
	・目的・目標の達成手段として適切で 優先度の高い事業か		☑ 高い
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	他社システムと比較をしたが、ホームページ上に構築する本ナビゲーションにおいては、ランニングコストが不要。	□ やや高い
効率性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
	・コスト削減や効率化に向けた工夫か 施されているか		□ 低い
	・成果目標は理にかない、実績は適切 把握・測定されているか	切に オンライン申請を拡充し、手続ナビゲーションを将来のオンライン申請のプラットフォームと して活用していく。オンライン申請拡充のため、職員を対象したシステムの使い方講座(約 30人、1.5時間/人)を実施した。	
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか		
	・先行事例の分析や外部資源の活用 十分行われたか	用は	
		、ナビ掲載ページの構成変更を行い、構成の統一を行ったことから、見やすくなるなど、市民の利便性の して活用していくことから、各手続きにオンライン申請を導入していく必要がある。	向上が図れた。
定性的な面も			
含めた自己評価 及び現状の課題			
		よ、ぴったりサービスを、その他イベント等の申請は、京都府電子申請システムの活用を推進する。 ・座(約30人、1. 5時間/人)を実施するとともに、粘り強く担当課と交渉することにより、オンライン申請り	D活用を拡充した。
改善策			
1/1 12-3	中地・プロミュートフル・カロマン	ort her \	
VI 二次評価(事業所属外による他部署記 	半価 <i>)</i> 	
事後評価コメント			
学校計画コクンド		古参野原中佐公川和藤(から古参の2)	
		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
VII 評価をふま;	えた次年度事業方針	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
VII 評価をふま:	えた次年度事業方針 方針区分	事業評価実施後に記載(対象事業のみ) 評価を踏まえた見直し内容	
VII 評価をふま:			

評価の観点に寄与した取組事項

施策・施策成果指標 に対する貢献度

810213行政手続オンライン化事業に組替え

□ 予算拡充

□ 予算縮減

) 🛭 他事業へ統合

(統合先事業名: 行政手続オンライン化事業(R4~))

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

支出実績(R3)

84 外出支援助成券印刷

308 郵送料

8,302 外出支援助成

(単位:千円)

事業属性																		
事業名	外出支援助	成事業											事	業コード	420207			
非体从 系	基本政策	1 市民一人ひる	とりが、ま	まちづくりの)担い手となり	、ほ	どよい力加	1減て	助け合うま	5	政策目	標 2	持続性0	ある移	·動手段σ.	確保		
政策体系	施策名	1 日常の生活	ニーズに	に応じた外に	出・訪問サービ	ここ	の確保					•	施	策コード	121			
事業担当	所属	15030000 福祉	保健部	高齢者福	祉課						所属县	長	賀 正之					
会計情報	款(03 民生費	項	01 社会	会福祉費	E	∃	03	老人福祉3	ŧ	会計	01	-般会計	決算作	付属資料	118	3	頁
計画期間	開始年度	平成12年度	終了予	予定年度	令和8年度		関連計画	名						R	4現在の状	t況 i	継続中	
根拠法令等	福知山市在	宅高齢者外出支	援助成	事業実施	要綱									•				
事業区分	□ 法定受	託事務 🗸	国府補	助事業	☑ 市単独	事	業 □	内部	庶務的事業	<u>□</u> ₹0.	他	()
関連事業																		
事業基礎情	 報																	
事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	自ら外出す図る。	ることが困難なる	E宅高齢	者の外出	を支援すること	:12.	より、本人の	り社会	会参加を促迫	進し、また、在	宅介護(こあた	:っている家	関 族等σ)精神的•	経済的負	担軽減	,ē
対象者	在宅高齢者							文	付象者数	42	0		単位あたり	ノコスト		25.7		
実施方法	☑ 直接実	施 □ 業	務委託		指定管理] 補助金3	を付		その他	()
委託先·実施主体等																		
事業概要 (箇条書き)	ては認定調・助成額:48・利用可能が ・利用方法:	共交通機関の和 査等の内容によ 1,000円(500円券 ロタクシー事業所 はR2年度より)利 日までの利用で1	って審査 ×96枚) 等数:タ 用金額	を)。毎年2)/年 パクシー事美 に応じて利	回更新審査を 業所等9事業所 J用枚数を制限	実が i、N io	ibする。 IPO法人等 る。	6法	Α		護認定を	お持	ちで、要支	援2以」		2、要介記	養1につ	l'\

主な業務内容

||| 名質執行化辺

主な支出に係る 業務内容と経費

支出に係る主な費目

需用費

役務費

扶助費

		予算執行状					/				<u>-</u> \	/-		
		区分		R2(評価前年			R3(評価年			R4(本年月		R5(要3	不年度)	
	1	当初予算			11,586			9,604			9,216			8,806
予	2	補正予算			0			0			0			0
算情	3) 繰越予算			0			0			0			0
報		前年度繰越			0			0			0			0
		次年度繰越			0			0			0			0
	小	計(①~③)			11,586			9,604			9,216			8,806
予	1	一般財源			11,586			9,604			9,216			8,806
算	2	国支出金			0			0			0			0
財源	3	府支出金			0			0			0			0
内	4) 地方債			0			0			0			0
訳	(5)	その他特財			0			0			0			0
24	1	流充用額			0			0						
算	2	配当予算			11,586			9,604						
決算情報	3	執行額			8,240			8,694						
TEX	4	執行率			71.1%			90.5%						
人概	1	従事職員数 (正職員 / 非常動嘱託職員)	0.21	/	0.00	0.26	/	0.00	0.26	/	0.00	0.00	/ 0.	.00
工算	2	概算人件費			1,680			2,080			2,080			0
		タルコスト 行額+概算人件費)			9,920			10,774			2,080			0
				外出支援助成	成事業(きょうと地域)	連携交付金)		民生費府補助金	ì		3,80	00	26	
(1)		な利用特財 1年度実績値)	特財名称				種類			実績金額		決算付属資料		頁

成果実績	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
(アウトカム)	利用率		%	40	/	60	43	/	60	42.6	/	60	/	60	60
実績/目標					/			/			/		/		
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動室籍	利用者数		人	393	/	450	376	/	450	366	/	450	/	450	450
活動実績(アウトプット)		単位あたり	スト		20.3			21.9			23.8				
実績/計画					/		7	/			/		/		外出支援助成事業

	単位あたりコスト			

•		a	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策·施策成果指標
		-	日1 四年マンドルのパ	高齢者の運転免許返納等が進むなか、公共交通機関を利用できない要支援・要介護者を	に対する貢献度
			・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	対象に、事業所との連携によりタクシーの利用助成を行った。	
	必要	性	・民間事業者や市民が自ら実施することの		
		_	できない事業か		
			・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		☑ 高い
			・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	平成27、28年度に利用者の要件を、また、令和2年度に利用方法の見直しを、令和3年度 は押印省略による手続きの簡素化により、事業の適正・効率化を図った。	□ やや高い
		14	・他の手段や方法とのコスト比較は		_ ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
	効 率	1生	十分行われているか		□ やや低い
			・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
			・成果目標は理にかない、実績は適切に	定期的に地域別高齢化率や介護認定状況などを確認するなかでも、高齢化率や高齢者 世帯に対しなっていることから、移動が困難な方に対する移動手段の確保に方	
			把握・測定されているか	世帯は右肩あがりとなっていることから、移動が困難な方に対する移動手段の確保は有効であると考える。	
	有 効	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか		
			・先行事例の分析や外部資源の活用は		
			★ 十分行われたか 検討委員会を経て制度の見直しを行い、現在、3	 対象は市民税非課税世帯かつ原則要支援2以上の者で、審査基準に認定調査結果を取り入:	れるなど、客観的な判断
			基準を設けている。また、利用金額に応じた券の	使用等利用方法の見直しにより、遠距離でタクシー等の料金が高額になる方への負担軽減 制度の適正化が図れている。一方で、令和2年度に利用方法の見直しを行ったところである。	が図れており、また、高
	定性的な	·丽±.	あり、改善を図る必要がある。		
	たほりは きめた自己 とび現状の	2評価			
~	(0.96.00				
			 利用率は、通院頻度等個人の体調なども影響す	るものではあるが、より利便性の高い制度となるよう事業所等の意見も聞きながら改善を図	3 .
	改 善	策			
Ι <u></u>	二次	評価(事	 		
		· · · · ·			
,,,	r 44. 55 PE —	- J > .l		古巻部体中が後に包装/4条古巻のか)	
4	後評価=	コメント		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
VII	評価	iをふまえ	た次年度事業方針		
			方針区分	評価を踏まえた見直し内容	
	担当課	₹ø	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	こついて、再度見直しを行う予定である。	
	事業の見 及び		□ 統合/組換 □ 廃止/休止		
	予算要求	方針	□ 廃血ン 休止 □ 事業の見直しなし □ 事業の見直しなし		
VIII	予算	反映結	果		
	予算反映	結果	☑ 現状維持 □ 廃止/休止	□ 予算拡充 □ 予算縮減	
	~~		□ 他事業を統合 (統合事業名: —) □ 他事業へ統合 (統合先事業名: —)

福知山市 今和 4 年度事務事業評価シート

登録事業所により実施

100 X- W	7	77-7		汉 7	L 40 1	•	ホロー	1-5	•					单)	单位:千F	9)
事業属性																
事業名	盲聾学校通	学支援事業										事業コー	-ド 420333			
政策体系	基本政策	1 市民一人ひと	ニりが、ま	ちづくりの	の担い手となり、	ほど	よい力加減	で助け合うま	ち	政策目標	票 2 持続	性のある	移動手段0)確保		
以果件术	施策名	1 日常の生活	ニーズに	応じた外	出・訪問サービ	スの	確保		,			施策コー	ド 121			
事業担当	所属	15040000 福祉化	保健部「	障害者福	祉課					所属長	西山よ	う子				
会計情報	款(03 民生費 項 01 社会福祉費 目 02 社会福祉援護費 会計 01 一般会計 決算付属資料 112													2	頁
計画期間	開始年度	平成21年度	終了予	定年度	令和5年度	厚	引連計画名	福知山市障害者	計画、第6期障	害福祉計画、	第2期障害児	福祉計画	R4現在の∜	₹況 #	継続中	
根拠法令等	福知山市障	害児通学支援事	業実施	要綱												
事業区分	□ 法定受	託事務 🗆	国府補助	助事業	☑ 市単独	事業		部庶務的事業	= □ その	他	()
関連事業																
事業基礎情	報															
事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	を利用してi	聾学校舞鶴分校 通学ができるよう 章害のある児童ヵ	に、通学	支援を行	い、子育て世代	の負	負担軽減を	図る。								
去全协	龍学松無雜	分校に通学する	児童で通	3学支援2	が必要か児音			计多去数	2	,	単位お	たいコス	L	205.0		

□ 補助金交付

事業概要 (箇条書き)

主な支出に係る 業務内容と経費

実施方法

委託先·実施主体等

社会福祉法人 京都聴覚言語障害者福祉協会

□ 業務委託

□ 直接実施

京都府立聾学校舞鶴分校に通学する児童に対し通学支援事業を行う。 (福知山駅からJR西舞鶴駅までJRを使用し、学校までの間の移動の支援を行う。)

□ 指定管理

支出に係る主な費目 支出実績(R3) 主な業務内容 扶助費 1,469 通学支援に係る事業費

☑ その他

|| 予算執行状況

	2	区 分	I	R2(評価前	年度)		R3(評価年	度)		R4(本年原	隻)	R5(要	求年度	
	1	当初予算			1,467			1,501			1,501			3,001
予	2	補正予算			0			0			0			0
予算情報	3	繰越予算			0			0			0			0
報		前年度繰越			0			0			0			0
		次年度繰越			0			0			0			0
	小言	th(1)~(3)			1,467			1,501			1,501			3,001
予	1	一般財源			1,467			1,501			1,501			3,001
算	2	国支出金			0			0			0			0
源	3	府支出金			0			0			0			C
算財源内訳	4	地方債			0			0			0			0
76	(5)	その他特財			0			0			0			C
#		流充用額			0			0						
算	2	配当予算			1,467			1,501						
決算情報	3	執行額			1,098			1,469						
		執行率			74.8%			97.9%						
人概		従事職員数 正職員/非常動嘱託職員)	0.00	/	0.03	0.02	/	0.10	0.02	/	0.10	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費			75			410			410			0
卜 -	算執	タルコスト _{行額+概算人件費)}			1,173			410			410			0
	主	は利用特財	特財名称				種類			実績金額		 決算付属資料	-	
(N	1-1	1年度実績値)					12790			S COLUMN AND		7771777541		

成里宝籍	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	制度利用者数		人	2	/	2	1	/	2	1	/	1	/	2	2
天模/日保					/			/			/		/		
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動電纜	通学支援事業登	登録事業所数	箇所	1	/	1	1	/	1	1	/	1	/	1	1
活動実績(アウトプット)		単位あたり=	スト		1551.2			1098.0			1469.0				
実績/計画					/		10	/			/		/		
		単位あたり〓	コスト												

I	項目	評価の観点	評価の観点に客与した取組事項	施策・施策成果指標
	74 F	a⊥ im o> be w	・京都府立聾学校舞鶴分校に児童が通学するためには送迎が必要であり、保護者にとっ	に対する貢献度
		・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	ては就労が制限されるなどの子育て世代の負担を軽減するため、また、障害のある児童 が障害の特性を踏まえた教育を受け、公共交通機関を利用した通学により社会性や自立	
	必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	する力を習得するために、聾学校舞鶴分校へ通学する児童への通学支援を行った。	
		・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		☑高い
		・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	・類似の支援を行う「地域生活支援事業(移動支援事業)」に準じた自己負担割合を設け、 実施した。	□ やや高い
	効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
		・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
		・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	・幼稚部に通学予定の児童保護者から利用希望の相談を受け、支援事業所・聾学校・保護者と情報共有しながら、利用してもらえる支援体制の整理を行った。	
	有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか		
		・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
			- 有機関に通学することは、その後の社会参加にも影響を与えると考えられる。 ュニケーションに理解のある支援員が通学支援することは、児童、保護者ともに必要な支援で る。	である 。
			••	
	定性的な面も 含めた自己評価			
	及び現状の課題			
			L N = 4. + 10 o m-0.+ /- >	
		ニーズ把握のため、利用申請の際に児童の状況	や必要は又振の唯認を行う。	
	改善策			
	以音束			
	VI 二次評価(事	事業所属外による他部署評価)		
			+ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	事後評価コメント		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
ı	 VII 評価をふまえ	 た次年度事業方針		·
I	711 27 12 23 23 2	方針区分	評価を踏まえた見直し内容	
		□ 事業の見直し		
	担当課の 事業の見直し	□ 統合/組換		
	及び 予算要求方針	□ 廃止/休止		
		☑ 事業の見直しなし		
	1111 9 80 12 23	=		
ı	VⅢ 予算反映結			
	予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止 □ 他事業を統合 (統合事業名: —	☑ 予算拡充□ 予算縮減○ □ 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
J		□ 心尹木で肌口 \ハパロヺ゙ホロ —	/ 山 心 中木 、	,

福知山市 今和4年度事務事業評価シート

活動実績 (アウトプット) 実績/計画

単位あたりコスト

単位あたりコスト

99.8

/

81.1

12 /

121.4

/

	事業属性														
	事業名	人工透析患	者通院助成事業	ŧ								事業コート	420343	3	
	政策体系	基本政策	1 市民一人ひと	ニりが、まちづ	くりの担い	い手となり、ほど	ぶい力加減で助	け合うま	ち	政策目	標 2 持約	た性のある 私	多動手段の	の確保	
	жжтж	施策名	1 日常の生活:	ニーズに応じ	た外出・言	方問サービスの	確保			•		施策コート	121		
	事業担当	所属	15040000 福祉(保健部 障害	者福祉課	Į				所属	長 西山 。	よう子			
	会計情報	款 0	03 民生費	項 0	1 社会福	祉費 目	02 社会	全福祉援	護費	会計	01 一般会	決算·	付属資料	112	頁
	計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年	度令	和5年度 阝	関連計画名 福語	知山市障	害者計画、	第6期障	害福祉計画	F	R4現在の∜	伏況 継続	続中
	根拠法令等	福知山市人	工透析患者通院	記助成事業実	施要綱										
	事業区分	□ 法定受討	託事務 🗆	国府補助事	業	☑ 市単独事業	□ 内部庶	務的事業	□ 7	·の他	()
	関連事業														
Ш	事業基礎情	報													
	事業目的 施策実現に向けて 「業が果たす役割)		人工透析を受けっ こ対し、タクシーst										め、通院	による人工透	透析を受
	対象者	通院による人	人工透析を受けて	ている人			対象	常者数		38	単位	あたりコスト		75.6	
	実施方法	☑ 直接実施	施 □ 業和	%委託	□ 指定	管理 🗆	補助金交付		その他	()
委	託先·実施主体等														
	事業概要 (箇条書き)	(1) 対象者・ (2) 内容・・・	るタクシー等の*・じん臓機能障害 500円券を週2回 しは、上記の2倍	訳により人工が 通院している	人は、1た						24枚(12,000	円)交付。迫	通院先まで	での距離が片	†道10キ
		支出に係	系る主な費目	支出実績	(R3)					主な業務内]容				
		需用費			59	利用券の印刷									
	主な支出に係る	役務費				郵送料									
:	業務内容と経費	扶助費			2,709	人工透析患者通	通院等助成								
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			-											
	区分	F	R2(評価前年度)			R3(評価年			R4(本年度)			R5(要	求年度)	
_	① 当初予算			2,694			2,781				3,159				3,052
争	② 補正予算			0			0				0				U
情報	③ 繰越予算			0				, I							
*10.	前年度繰越 次年度繰越			0			0				0				0
	小計(①~③)			0			0				0				0
				0			0				0				0
	1			0 2,694			0 0 2,781				0 0 3,159				0 3,052
予管	① 一般財源			2,694 2,694			0 0 2,781 2,781				3,159 3,159				3,052 3,052
算財	 一般財源 国支出金 			0 2,694 2,694 0			0 0 2,781 2,781				0 3,159 3,159				3,052 3,052
算財源	 一般財源 国支出金 府支出金 			2,694 2,694 0			0 0 2,781 2,781				3,159 3,159 0				3,052 3,052 0
算財	 一般財源 国支出金 			0 2,694 2,694 0			0 0 2,781 2,781 0				0 3,159 3,159				3,052 3,052
算財源内訳	① 一般財源 ② 国支出金 ③ 府支出金 ④ 地方債			0 2,694 2,694 0 0			0 0 2,781 2,781 0 0				3,159 3,159 0 0				3,052 3,052 0 0
算財源内訳 決	 一般財源 国支出金 府支出金 地方債 その他特財 			0 2,694 2,694 0 0 0			0 0 2,781 2,781 0 0				3,159 3,159 0 0				3,052 3,052 0 0
算財源内訳 決算情!	 一般財源 国支出金 府支出金 地方債 その他特財 流充用額 			0 2,694 2,694 0 0 0 0			0 0 2,781 2,781 0 0 0 0				3,159 3,159 0 0				3,052 3,052 0 0
算財源内訳 決算	 一般財源 国支出金 府支出金 地方債 その他特財 流充用額 配当予算 			0 2,694 2,694 0 0 0 0 156 2,850			0 0 2,781 2,781 0 0 0 0 0 21 2,802				3,159 3,159 0 0				3,052 3,052 0 0
算財源内訳 決算情!	 一般財源 国支出金 府支出金 地方債 その他特財 流充用額 配当予算 執行率 位本事職員数 	0.01	/	0 2,694 2,694 0 0 0 0 156 2,850 2,839	0.0	1 /	0 0 2,781 2,781 0 0 0 0 21 2,802 2,793		01	/	3,159 3,159 0 0			/ 0.	3,052 3,052 0 0
算財源内訳 決算情報	 一般財源 国支出金 府支出金 地方債 その他特財 流充用額 配当予算 執行額 執行率 従工業員 サ (正報点) サ (正報点) 	0.01		0 2,694 2,694 0 0 0 156 2,850 2,839 99.6%	0.0	1 /	0 0 2,781 2,781 0 0 0 0 21 2,802 2,793 99.7%	0.	01	/	3,159 3,159 0 0	0.00		/ 0.	3,052 3,052 0 0
算財源内訳 決算情報 概算	 一般財源 国支出金 府支出金 地方債 その他特財 流充用額 配当予算 執行額 執行率 従事職員数 (正職員, **未申報託職員) 	0.01	/	0 2,694 2,694 0 0 0 156 2,850 2,839 99.6% 0.00	0.0	1 /	2,781 2,781 0 0 0 0 21 2,802 2,793 99.7% 0.00	0.	01	/	0.00 0 3,159 3,159 0 0 0	0.00		/ 0.	0 0 3,052 3,052 0 0 0
算財源内訳 決算情報 概算 上	 一般財源 国支出金 府支出金 地方債 その他特財 流充用額 配当予算 執行額 執行率 従事職員数 (正職材、非常時報託職員) 概算人件費 	0.01	/	0 2,694 2,694 0 0 0 156 2,850 2,839 99.6%	0.0	1 /	2,781 2,781 0 0 0 0 21 2,802 2,793 99.7% 0.00	0.	01	/	0.00	0.00		/ 0.	0 0 3,052 3,052 0 0 0
算財源内訳 決算情報 人工 一	 一般財源 国支出金 府支出金 地方債 その他特財 流充用額 配当予算 執行率 (企業者・井本務の経代報報) 概算人件費 	0.01	/	0 2,694 2,694 0 0 0 156 2,850 2,839 99.6% 0.00	0.0	1 /	2,781 2,781 0 0 0 0 21 2,802 2,793 99.7% 0.00	0.	01 実績		0.00 0 3,159 3,159 0 0 0	0.00	付属資料	/ 0.	3,052 3,052 () () ()
算財源内訳 決算情報 人工 上 八	 一般財源 国支出金 府支出金 地方債 その他特財 流充用額 配当予算 執行率 従事職員数 (正職員, 非常助祖王職員) 概算人件費 本の人件費 本の利用特財 		/	0 2,694 2,694 0 0 0 156 2,850 2,839 99.6% 0.00	0.0		2,781 2,781 0 0 0 0 21 2,802 2,793 99.7% 0.00	0.			0.00 0 3,159 3,159 0 0 0	0.00		/ 0.	3,052 3,052 0 0 0
算財源内訳 決算情報 板算 1/- 浮	① 一般財源 ② 国支出金 ③ 府支出金 ④ 地方債 ⑤ その他特財 ① 流充用額 ② 配当予額 ④ 執行率 ① 従事職員数 (正職員 非常助組託職別) ② 概算人件費 一タルコスト 算執行額・概算人件費) 主な利用特財 一1年度績値) 業績指標	特財名称	/ /	0 2,694 2,694 0 0 0 156 2,850 2,839 99.6% 0.00	0.0		2,781 2,781 0 0 0 0 21 2,802 2,793 99.7% 0.00	0.			0.00 0 3,159 3,159 0 0 0	0.00		/ 0.	0 0 3,052 3,052 0 0 0 0
算財源内訳 決算情報 板算 1/- 浮	 一般財源 国支出金 府支出金 地方債 その他特財 流充用額 配当下算 執行率 (正職者/非常的概託服用) (正職者/非常的概託服用) 他特財 (正職者/非常的概託服用) (正職者/非常的概託服用) 他算人件費 一夕ルコスト 算執行額+概算人件費 主な利用特財 1一1年度実績(アウトカム) 	特財名称		0 2,694 2,694 0 0 0 156 2,850 2,839 99.6% 0.00 80 2,919	0.0	種類	2,781 2,781 2,781 0 0 0 0 21 2,802 2,793 99.7% 0.00 80 2,873	0.		金額	0.00 0 3,159 3,159 0 0 0	0.00			0 0 3,052 3,052 0 0 0 0
算財源内訳 決算情報 板算 1/- 浮	 一般財源 国支出金 府支出金 地方債 その他特財 流充用額 配当予額 執行率 従属制、非常制機制 概算人件費 一タル場介額+概算人件費 主な利用特財 主な利用特財 工作費 大橋 大橋 大橋 大橋 大橋 大橋 	特財名称		0 2,694 2,694 0 0 0 156 2,850 2,839 99.6% 0.00 80 2,919	0.0	種類 R1	2,781 2,781 0 0 0 0 21 2,802 2,793 99.7% 0.00	0.		金額 R3	0.00 0 3,159 3,159 0 0 0	0.000 決算			0 0 3,052 3,052 0 0 0 0
算財源内訳 決算情報 板算 1/- 浮	 一般財源 国支出金 府支出金 地方債 その他特財 流充用額 配当下算 執行率 (正職者/非常的概託服用) (正職者/非常的概託服用) 他特財 (正職者/非常的概託服用) (正職者/非常的概託服用) 他算人件費 一夕ルコスト 算執行額+概算人件費 主な利用特財 1一1年度実績(アウトカム) 	特財名称		0 2,694 2,694 0 0 0 156 2,850 2,839 99.6% 0.00 80 2,919	0.0	種類 R1	2,781 2,781 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 21 2,802 2,793 99.7% 0.00 80 2,873	0.		金額 R3 /	0.00 0 3,159 3,159 0 0 0	0.000 決算			00 03,052 3,052 00 00 00 00 00

項目	事 美 担 当 所 偶 内による目 亡 評 / 	評価の観点に寄与した取組事項	施策·施策成果指標
	#T W▽/戦ルボ	通院による人工透析を受けている人に対し、通院手段の確保と通院に係る交通費の経済	に対する貢献度
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業		
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か		
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		☑ 高い
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	通院頻度や通院先までの距離に応じ、助成券の交付枚数に制限を設け、助成した。	□ やや高い
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	事業所からの請求時に利用者のデータを入力、管理し、実績を適切に把握した。	
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか		
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	人工透析は通院回数が頻回であり、通院に 析患者全員に制度周知ができており、必要	- 係る交通費の負担が大きいため、交通費の助成を行うことで対象者の経済的負担軽減につながな人への制度利用につながっている。	っている。また、人工透
定性的な面も 含めた自己評価			
及び現状の課題			
	今後も継続して助成を行うことで、通院手段	との確保と通院に係る交通費の経済的負担の軽減を図る。	
改善策			
VI 二次評価(₹	事業所属外による他部署評価		
事後評価コメント		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
VII 評価をふまえ	た次年度事業方針		
	方針区分	評価を踏まえた見直し内容	
担当課の	□ 事業の見直し □ 統合/組換		
事業の見直し 及び	□ 廃止/休止		
予算要求方針	☑ 事業の見直しなし		
\mu \ \text{\tint{\text{\tin}\text{\ti}\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\tin}\tint{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\tin}\tint{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\ti}\text{\text{\text{\text{\texi}\text{\text{\texi}\tint{\text{\text{\tex{\text{\text{\text{\text{\text{\texi}\text{\texi}\text{\texit{\ti}\tinttitt{\texi}\tint{\texitit{\text{\texit{\texi}\text{\	. 122		
VⅢ 予算反映結		口 圣笛娇女 □ 圣笛统进	
予算反映結果	☑ 現状維持 □ 廃止/休止 □ 他事業を統合 (統合事業名: -	□ 予算拡充□ 予算縮減□ 他事業へ統合(統合先事業名: —)
	一日子水之城日	/ C DTA - MIC	,

標

指

制度のべ利用回数

活動実績 (アウトプット) 実績/計画

単位

単位あたりコスト

単位あたりコスト

983

R1

4.8

920

884

R2

4.7

/

920

847

R4

920

R3

4.3

/

920

最終目標

920

14	大口山 T 事業属性															
	事業名	障害者サービス	事業所通所交	を通費助成事								3	事業コード 4	20366		
		基本政策 1 市	5民一人ひとり	yが、まちづ [、]	くりの担い	ハ手となり、ほ	 どよい力加減 ⁻	で助け合うる	まち	政	策目標	2 持続性	のある移動	手段の配	在保	
	政策体系	施 策 名 1	日常の生活ニ	ーズに応じた	た外出・言	方問サービスの	の確保					j.	施策コード 1	21		
	事業担当	所属 1504	40000 福祉保	健部 障害	者福祉課	1				Ē	所属長	西山 よう	子			
	会計情報	款 03 民	生費 :	項 01	社会福	祉費 [02	社会福祉援	護費	会	計 01	一般会計	決算付属	資料	114	頁
	計画期間	開始年度平	ヹ成5年度	終了予定年	度 令	和5年度	関連計画名	福知山市區	章害者言	計画、第6期	胡障害福	祉計画	R4現	在の状況	2 継続	続中
	根拠法令等	福知山市障害者	サービス事業	\$所通所交通	通費助成 :	金支給要綱										
	事業区分	□ 法定受託事	務 口目	国府補助事	業	☑ 市単独事	業 口内部	『庶務的事	業	□ その他	()
	関連事業															
	事業基礎情	報														
	事業目的 施策実現に向けて (業が果たす役割)	障害のある人が に要した交通費を									芳移行支	爰、就労組	継続支援を 行	う事業所	行に通所す	るため
	対象者	公共の交通機関	を利用して通	所する人				対象者数		496		単位あた	こりコスト		8.3	
	実施方法	☑ 直接実施	□ 業務	委託	□ 指定	管理 🗆	〕補助金交付		その	也 ()
委	・実施主体等事業概要(箇条書き)	障害者総合支援 助成率:2/3(たた				東、就労移行3	支援、就 労継 続	支援を行う	事業所	に通所する	るために	要した交通	1費の一部を	助成する	5 .	
		支出に係る主	Eな費目	支出実績	(R3)					主な業	務内容					
		扶助費			3,661	障害者サービ	ス事業所通所	交通費助成	ţ							
	Eな支出に係る															
3	終務内容と経費															
<u> </u>	予算執行状															
	- A	_				D0/57/T	to other \			54/± /= 5	Arr \			/ -	é-me	
	区 分	_	評価前年度)	4.602		R3(評価:		750		R4(本年原	度)	4.750	į	₹5(要求	年度)	4.751
32.	① 当初予算	_	評価前年度)	4,602		R3(評価:		750		R4(本年原	隻)	4,750	i	₹5(要求:	年 度)	4,751
予算	 当初予算 補正予算 	_	評価前年度)	0		R3(評価:		0		R4(本年』	E)	0	ſ	₹5(要求:	年度)	0
	① 当初予算	_	評価前年度)	0		R3(評価:		0		R4(本年月	E)	0	Ī	R5(要求:	年度)	0
算情	 当初予算 補正予算 繰越予算 前年度繰越 	_	评価前年度)	0		R3(評価:		0		R4(本年月	隻)	0	ı	R5(要求:	年度)	0 0
算情報	① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算	_	评価前年度)	0 0		R3(評価:	4,	0 0 0		R4(本年)	度)	0 0	ı	R5(要求	年度)	0
算情報	① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 ————————————————————————————————————	_	评価前年度)	0 0 0		R3(評価:	4,	0 0 0		R4(本年度	度)	0 0 0		85(要求	年度)	0 0 0
算情報 予算	① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算	_	评価前年度)	0 0 0 0 0 4,602		R3(評価:	4,	0 0 0 0 0 750		R4(本年[度)	0 0 0 0 4,750	ŗ	R5(要求	年度)	0 0 0 0 4,751
算情報 予算財源	① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越	_	评価前年度)	0 0 0 0 4,602 4,602		R3(評価:	4,	0 0 0 0 0 750		R4(本年E	度)	0 0 0 0 4,750 4,750	•	R5(要求	年度)	0 0 0 0 4,751 4,751
算情報 予算財源内	① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算	_	评価前年度)	0 0 0 0 4,602 4,602 0 0		R3(評価·	4,	0 0 0 0 0 750 750 0 0		R4(本年E	度)	0 0 0 0 4,750 4,750 0 0	•	R5 (要求:	年度)	0 0 0 4,751 4,751 0 0
算情報 予算財源	 当初予算 補正予算 繰越予算 前年度繰越	_	评価前年度)	0 0 0 0 4,602 4,602 0 0 0		R3(評価:	4,	0 0 0 0 750 750 0 0		R4(本年E	隻)	0 0 0 0 4,750 4,750 0	•	R5 (要求:	年度)	0 0 0 4,751 4,751 0
算情報	 当初予算 補正予算 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越 小計(①~③) 一般財源 国支出金 が支出金 地方債 その他特財 流充用額 	_	評価前年度)	0 0 0 0 4,602 4,602 0 0 0		R3(評価:	4,	0 0 0 0 750 750 0 0		R4(本年E	度)	0 0 0 0 4,750 4,750 0 0	,	R5(要求:	年度)	0 0 0 4,751 4,751 0 0
算情報	 当初予算 補正予算 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越 小計(①~③) 一般財源 国支出金 称支出金 地方債 その他特財 流充用額 配当予算 	_	评価前年度)	0 0 0 4,602 4,602 0 0 0 0 0 4,602		R3(評価:	4,	0 0 0 0 750 750 0 0 0		R4(本年[度)	0 0 0 0 4,750 4,750 0 0	•	宋要) 改字	年度)	0 0 0 4,751 4,751 0 0
算情報 予算財源内	 当初予算 補正予算 繰越予算 市申度機越 次年度繰越 小計(①~③) 一般財源 国支出金 府支出金 地方債 その他特財 流充用額 配当予算 執行額 	_	评価前年度)	0 0 0 4,602 4,602 0 0 0 0 4,602 4,147		R3(評価:	4, 4, 4, 3,	0 0 0 0 750 750 0 0 0 0 0		R4(本年 <i>E</i>	(t)	0 0 0 0 4,750 4,750 0 0		R5 (要求:	年度)	0 0 0 4,751 4,751 0 0
算情報 予算財源内訳 決算情報	 当初予算 補正予算 繰越予算 本申度機越 次年度機越 小計(①~③) 一般財源 国支出金 毎 地方債 その他特財 流充用額 配当予算 執行率 	R2(0 0 0 4,602 4,602 0 0 0 0 4,602 4,147 90.1%	0.00		4, 4, 4, 3, 6, 77	0 0 0 0 750 0 0 0 0 0 0 0 0 661	0.06			0 0 0 4,750 4,750 0 0 0		R5(要求:		0 0 0 4,751 4,751 0 0 0
算情報 予算財源内訳 決算情報 概	① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越 次年度機越 の計(可~③) ① 一般財源 ② 国支出金 ③ 府支出金 ④ 地方債 ⑤ その他特財 ① 流充用額 ② 配当予算 ③ 執行率 ③ 執行率 ① (正確明/ 非書類報任限用)	_		0 0 0 4,602 4,602 0 0 0 0 4,602 4,147 90.1%	0.0		4, 4, 4, 3, 77 0.00	0 0 0 0 0 750 750 0 0 0 0 0 750 661	0.06	R4(本年E	()	0 0 0 4,750 4,750 0 0 0	0.00	R5(要求		0 0 0 4,751 4,751 0 0
算情報 予算財源内訳 決算情報 板算 1	 当初予算 補正予算 繰越予算 本申度機越 次年度機越 小計(①~③) 一般財源 国支出金 毎 地方債 その他特財 流充用額 配当予算 執行率 	R2(0 0 0 4,602 4,602 0 0 0 0 4,602 4,147 90.1%	0.0		4, 4, 4, 3,, 77 0.00	0 0 0 0 750 0 0 0 0 0 0 0 0 661	0.06			0 0 0 4,750 4,750 0 0 0		R5(要求:		0 0 0 4,751 4,751 0 0 0
算情報 予算財源内訳 決算情報 概算 トラ	① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算	R2(0 0 0 4,602 4,602 0 0 0 0 4,602 4,147 90.1% 0.00	0.0		4, 4, 4, 3,, 77 0.00	0 0 0 0 750 0 0 0 0 0 0 0 0 661 .1%	0.06			0 0 0 4,750 4,750 0 0 0 0				0 0 0 4,751 4,751 0 0 0
算情報 予算財源内訳 決算情報 概算 	① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算	0.05		0 0 0 4,602 4,602 0 0 0 0 4,602 4,147 90.1% 0.00	0.0	6 /	4, 4, 4, 3,, 77 0.00	0 0 0 0 750 0 0 0 0 0 0 0 0 661 .1%	0.06	/		0 0 0 4,750 4,750 0 0 0 0	0.00			0 0 0 4,751 4,751 0 0 0
算情報 予算財源内訳 決算情報 概算 	① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越 前年度繰越 次年度繰越 小計(①~③) ① 一般財源 ② 国支支支債 ⑤ その他用額 ② 配升行額 ② 配升行額 ② 執行率 ① 従歴科/非常為類性理科 ② 概算	0.05		0 0 0 4,602 4,602 0 0 0 0 4,602 4,147 90.1% 0.00	0.0	6 /	4, 4, 4, 4, 4, 4, 4, 4, 4, 4, 4, 4, 4, 4	0 0 0 0 750 0 0 0 0 0 0 0 0 661 .1%	0.06	/		0 0 0 4,750 4,750 0 0 0 0	0.00			0 0 0 4,751 4,751 0 0 0 0
算情報 予算財源内訳 決算情報 板算 ト・デ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算	0.05	/	0 0 0 4,602 4,602 0 0 0 0 4,602 4,147 90.1% 0.00 400 4,547	0.0	6 /	4, 4, 4, 4, 3, 4, 77 0.00 4, F	0 0 0 0 0 750 0 0 0 0 0 0 750 661 .1%	0.06	大 大 実績金額		0 0 0 4,750 4,750 0 0 0 0	0.00	/	0.	0 0 0 4,751 4,751 0 0 0 0

・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 障害のある人の社会参加促進と通所時の経済的な負担軽減のために、自立に必要な訓練のため通所している人に対し、通所に係る交通費を支給した。 ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減が効率化に向けな工まが	高い やや高い やや低い 低い
日的・日標の達成手段として適切で、 (優先度の高い事業か 日か・日標の達成手段として適切で、 (優先度の高い事業か ・	やや高い やや低い 低い
・自約・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業が ・受生者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は ・分行われているか ・コスト制減や効率化に向けた工夫が 施されているか ・現度目標は理にかない、実績は適切に ・把握・測定されているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は ・分行われたか ・発入資源に見合っているか ・先行事例のが中外の解説の活用は ・から行われたか ・ お助業就は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか ・ 生活事例のが作か外部資源の活用は ・ から行われたか ・ たっているか ・ 生物である人の社会参加促進と通所時の経済的な負担軽減になっており、有効な事業である。 令和3年度は新型コロナウィルス感染症の影響により公共交通機関の利用を避けるようにと通知している事業所もあり、当初見込みより実績は少な現象がの課題 ・ 必要な人に利用してもらえるように通所事業所から事業所利用者へ呼び掛けてもらうよう伝える。	やや高い やや低い 低い
カ 車 性 ・他の手段や方法とのコスト比較は ・分析のサービスと比較して工資の高い数学維熱支援を超必の適所者の交通費助成のみ助成 率を1/2に、他のサービス利用者の助成率は2/3とし、コスト削減の工夫をしている。 ・	やや低い
対 率 性 ・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか ・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか ・ 活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか ・ 先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか ・	低い
施されているか ・成果目標は理にかない、実績は適切に ・把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか 障害のある人の社会参加促進と通所時の経済的な負担軽減になっており、有効な事業である。 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により公共交通機関の利用を避けるようにと通知している事業所もあり、当初見込みより実績は少・を性的な面も 含めた自己腎面 及び現状の課題 ・必要な人に利用してもらえるように通所事業所から事業所利用者へ呼び掛けてもらうよう伝える。	
有 効 性 「根据・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか 障害のある人の社会参加促進と通所時の経済的な負担軽減になっており、有効な事業である。 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により公共交通機関の利用を避けるようにと通知している事業所もあり、当初見込みより実績は少い 定性的な面も 含めた自己評価 及び現状の課題 ・必要な人に利用してもらえるように通所事業所から事業所利用者へ呼び掛けてもらうよう伝える。	>なかった。
投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか 障害のある人の社会参加促進と通所時の経済的な負担軽減になっており、有効な事業である。 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により公共交通機関の利用を避けるようにと通知している事業所もあり、当初見込みより実績は少なび現状の課題 ・必要な人に利用してもらえるように通所事業所から事業所利用者へ呼び掛けてもらうよう伝える。	〉 なかった。
十分行われたか 障害のある人の社会参加促進と通所時の経済的な負担軽減になっており、有効な事業である。 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により公共交通機関の利用を避けるようにと通知している事業所もあり、当初見込みより実績は少い 定性的な面も 含めた自己評価 及び現状の課題 ・必要な人に利用してもらえるように通所事業所から事業所利用者へ呼び掛けてもらうよう伝える。	かなかった。
令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により公共交通機関の利用を避けるようにと通知している事業所もあり、当初見込みより実績は少さ 含めた自己評価 及び現状の課題 ・必要な人に利用してもらえるように通所事業所から事業所利用者へ呼び掛けてもらうよう伝える。	かなかった。
含めた自己評価 及び現状の課題 ・必要な人に利用してもらえるように通所事業所から事業所利用者へ呼び掛けてもらうよう伝える。	
含めた自己評価 及び現状の課題 ・必要な人に利用してもらえるように通所事業所から事業所利用者へ呼び掛けてもらうよう伝える。	
改善策	
CX 音 束	
At a seed the Ca seed of the line.	
事後評価コメント 事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
VII 評価をふまえた次年度事業方針	
プダビス 計画を含まれた見直し内容 □ 事業の見直し	
担当課の	
及び □ 廃止/休止 予算要求方針 □ 廃止/休止	
☑ 事業の見直しなし	
☑ 現状維持 □ 廃止/休止 □ 予算拡充 □ 予算縮減	
予算反映結果 □ 他事業を統合 (統合事業名: —) □ 他事業へ統合 (統合先事業名: —	

福知山市 今和4年度事務事業評価シート

相外山	1	704	个及	尹	物手	来扩	† 70°	0 /	_	•					(単位:	千円)
事業属性																
事業名	障害者安心	いおでかけサポー	ト事業									事業	ニード	420368		
政策体系	基本政策	1 市民一人ひと	ニりが、まちづ。	くりの担	い手となり、ほ	ほどよい力加	1減で助	け合うま	ち	政策目標	票 2 扌	持続性の	ある移動	動手段の確	保	
以来许未	施策名	1 日常の生活	ニーズに応じた	た外出・	訪問サービス	の確保					•	施策	コード	121		
事業担当	所属	15040000 福祉(保健部 障害	者福祉	課					所属長	西山	よう子				
会計情報	障害者安心おでかけサポート事業 基本政策 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち 政策目標 2 持続 施策名 1 日常の生活ニーズに応じた外出・訪問サービスの確保 所属 15040000 福祉保健部 障害者福祉課 所属長 西山 よ 談 03 民生費 項 01 社会福祉費 目 02 社会福祉援護費 会計 01 一般会話 開始年度 平成7年度 終7予定年度 令和5年度 関連計画名 福和山市障害者計画、第6期障害視社計画、第2期障害児祖知山市障害者安心おでかけサポート事業実施要網 法定受託事務 ② 国府補助事業 □ 市単独事業 □ 内部庶務的事業 □ その他 (会計	決算付	属資料	114	頁			
計画期間	開始年度	平成7年度	終了予定年月	度	令和5年度	関連計画	名 福知	山市障害者	計画、第6期障	害福祉計画、	第2期障	害児福祉計	画 R4	現在の状況	継続	中
根拠法令等	# 名 障害者安心おでかけサポート事業												•			
事業区分	□ 法定受	:託事務 🗸	国府補助事業	業	□ 市単独事	業 🗆	内部庶	務的事業	E □ その)他	()
関連事業																
 事業基礎情	 報															
事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)			対し、移動に	要するタ	タクシー等の料	金の助成を	行うこと	こにより、	社会参加の	促進を図り	小、在宅	の重度障	害のあ	る人やその)家族の精	4 頁 継続中) の精神的・
対象者	在宅の重度	ま障害のある人	The state of the s													
実施方法	☑ 直接実	接実施 🗆 業務委託 🗆 指定管理 🗆 補助金交付 🗆 その他 ()	
委託先·実施主体等																
事業概要 (箇条書き)			対して、200円	券を1だ	か月に5枚(月1	1,000円)、申	請を受	理した月	より当該年度	きの3月ま	での月数	対分を交 位	付し、外	出のための	Dタクシー等	評料金
	支出に	係る主な費目	支出実績((R3)					主	な業務内	容					
	需用費			88	助成券の印刷	別経費										
主な支出に係る	役務費			196	郵送料				事業コード 420368 まち 政策目標 2 持続性のある移動手段の確保 施策コード 121							
業務内容と経費	扶助費			事業コード 420368 まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち 政策目標 2 持続性のある移動手段の確保 施策コード 121												
	況		-													
区分		R2(評価前年度)		R3(評価	年度)			R4(本	年度)				R5(要求年	F 度)	

		丁异		R2(評価前4	主度)		R3(評価年	度)		R4(本年月	(F)	R5(要:	求年度)	
	(1)	• •			3.879			3,964			4,256			4,474
予	2	補正予算			0			0			0			0
算情	3	繰越予算			0			0			0			0
報		前年度繰越			0			0			0			0
		次年度繰越			0			0			0			0
	小言	h(1)~3)			3,879			3,964			4,256			4,474
予	1	一般財源			3,879			3,964			4,256			4,474
算	2	国支出金			0			0			0			0
財源	3	府支出金			0			0			0			0
内訳	_	地方債			0			0			0			0
76	(5)	その他特財			0			0			0			0
#	1	流充用額			△ 156			0						
決算	2	配当予算			3,723			3,964						
情報	3	執行額			3,629			3,520						
		執行率			97.5%			88.8%						
人概		従事職員数 正職員/非常動爆託職員)	0.03	/	0.00	0.13	/	0.00	0.13	/	0.00	0.00	/ 0.	.00
工算	2	概算人件費			240			1,040			1,040			0
卜 -	算執	タルコスト _{行額+概算人件費)}			3,869			4,560			1,040			0
		6- Til M 4+ D1		障害者安心おでた	いけサポート事業(きょうと地	域連携交付金)		民生費府補助金			1,43	8	26	
(N	王7	な利用特財 1年度実績値)	特財名称				種類			実績金額		決算付属資料		頁

成果実績	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
パイス(M) (アウトカム) 実績/目標	助成券使用率		%	50.3	/	100	48.9	/	100	66	/	100	/	100	100
天模/日保					/			/			/		/		
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	制度利用者数		人	590	/	550	605	/	600	615	/	600	/	600	600
		単位あたり〓	スト		6.2			6.0			5.7				
					/		16	/			/		/		
		単位あたり〓	あたりコスト					•	•		•				

・市民や社会の二一ズを砂路に収えた事業か ・ 使用の事業や市民が自ら実施することのできないますが ・ 日かり目の選及目の選及目のあたり、必要な方は申請していただいでいる。 ・ 日かり目の選及目の選出を設として適切で、 ・ 世本者を必要はが果か ・ 一学数を必要の場所を必要に収また。 ・ 一学数を必要の場所を必要を対して対して ・ 一学数を必要の場所を必要を対して対した。	項目	宇来 担当 が 属 りによる日 口 計画) 評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
● 要性 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	担の軽減を図るために、移動に要するタクシー等の料金を助成した。	
● 変生素との急性関係や単位あたり コストに変更な水準か ・地の手段や方法とのコストは設は ・コスト制度や効素とのコストは設は ・コスト制度や効素とのコストは設は ・コスト制度や効素とし、同けた工夫が 地でおれているか ・ 水展目標は関心ない、支縄は適切に ・ 地域・関連されているか ・ 水井幕側の分析で外部受援の活用は ・ 大井幕側の分析で外部受援の活用は ・ 大井幕側の分析で外部受援の活用は ・ 大井幕側の分析で外部受援の活用は ・ 大井幕側の分析で外部受援の活用は ・ 小成外使用率は上かっているが、未使用率も3割以上ある。 * 変性的な悪も ・ 動成者の申載、終付時に、必要な場面での活用を使す。 ・ 助成者の申載、終付時に、必要な場面での活用を使す。 ***********************************	必要性		・障害有子板文的時に制度条例を行い、必要な力は中調していただいている。	
対象性				□高い
他の手段や方法とのコスト比較は			が、制度内容を共有している。又、両事業を併用することがないよう連絡を取りながら実施	☑ やや高い
施えれているか ・成果目標は理にかない、実績は適切に ・把握・測定されているか ・活動整緒は見込みに沿い、かつ 投入技術に受わる人の、外出時の経済的点担を経済する事業で、対象者にとっては必要性が高い。 ・生行者のわれたか ・在の面皮質者のある人の、外出時の経済的点担を経済する事業で、対象者にとっては必要性が高い。 ・助成券使用率は上がっているが、未使用率も3割以上ある。 本性的な面も含かた自己評価 及び親牧の課題 ・助成券の申請、絡付時に、必要な場面での活用を促す。 ・助成券の申請、絡付時に、必要な場面での活用を促す。 ・助成券の申請、絡付時に、必要な場面での活用を促す。 ・事業評価を活後に記載(対象事業のみ)	効 率 性			□ やや低い
有 効 性 -				□ 低い
接入資源に具合っているか ・			事業所からの請求時に利用者のデータを入力、管理し、実績を適切に把握した。	
十分行われたか	有 効 性			
・助成券使用率は上がっているが、未使用率も3割以上ある。 実性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題 ・助成券の申請、給付時に、必要な場面での活用を促す。 VI 二次評価(事業所属外による他部署評価) 事後評価コント 事業評価実施後に記載(対象事業のみ)				
・助成券の申請、給付時に、必要な場面での活用を促す。 ・助成券の申請、給付時に、必要な場面での活用を促す。 マスティー マスティー				
・助成券の申請、給付時に、必要な場面での活用を促す。 ・助成券の申請、給付時に、必要な場面での活用を促す。 マスティー マスティー	<u> </u>			
・助成券の申請、給付時に、必要な場面での活用を促す。 ひ 善 策 VI 二次評価(事業所属外による他部署評価) 事後評価コメント 事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	含めた自己評価			
改 善 策 VI 二次評価(事業所属外による他部署評価) 事後評価コメント 事業評価実施後に記載(対象事業のみ)				
改 善 策 VI 二次評価(事業所属外による他部署評価) 事後評価コメント 事業評価実施後に記載(対象事業のみ)				
VI 二次評価(事業所属外による他部署評価) 事後評価コメント 事業評価実施後に記載(対象事業のみ)		・助成券の申請、給付時に、必要な場面での活用 	10000000000000000000000000000000000000	
VI 二次評価(事業所属外による他部署評価) 事後評価コメント 事業評価実施後に記載(対象事業のみ)				
事後評価コメント 事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	改善策			
事後評価コメント 事業評価実施後に記載(対象事業のみ)				
事後評価コメント 事業評価実施後に記載(対象事業のみ)				
	VI 二次評価(3	事業所属外による他部署評価)		
VII 評価をふまえた次年度事業方針	事後評価コメント 		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
VII 計画をいまんに外生及事業力到		大 次任 座 車 業 古 針		
方針区分 評価を踏まえた見直し内容	All 81 Im 5 (2) 3 V	1	評価を踏まえた見直し内容	
□事業の見直し	担火器の	□ 事業の見直し		
担当課の 事業の見直し □ 統合/組換	事業の見直し	□ 統合/組換		
及び 予算要求方針 □ 廃止/休止				
□ 事業の見直しなし		☑ 事業の見直しなし		
Ⅷ予算反映結果	VⅢ 予算反映結	果		
予算反映結果 □ 現状維持 □ 廃止/休止 ☑ 予算拡充 □ 予算縮減	予算反映結里	□ 現状維持 □ 廃止/休止	☑ 予算拡充 □ 予算縮減	
□ 他事業を統合 (統合事業名: 一) □ 他事業へ統合 (統合先事業名: 一)	. 介 从外相不	□ 他事業を統合 (統合事業名: —) □ 他事業へ統合 (統合先事業名: 一)

福知山市 今和4年度事務事業評価シート

支出実績(R3)

10000	· '7	77 7	1 12 7	r w T	ې	1.	/W /						(単位:=	千円)
事業属性														
事業名	乗合タクシー	-導入モデル事業	ŧ								事業コード	120107		
非集壮 委	基本政策	1 市民一人ひと	:りが、まちづくり0	の担い手となり、1	ほど。	よい力加減	で助け合うま	ち	政策目	票 2 持続	性のある移	動手段の研	准保	
以来许永	施策名	1 日常の生活ニ	ニーズに応じた外	出・訪問サービス	スの都	在保					施策コード	121		
事業担当	所属	35050000 建設多	を通部 都市·交流	通課					所属長	足立 誌	接治	-		
事業名 乗合タクシー導入モデル事業 事業コード 120107 政策体系 基本政策 1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち 放策目標 2 持続性のある移動手段の確保施策 2 持続性のある移動手段の確保施策 35050000 建設交通部 都市・交通課 所属 35050000 建設交通部 都市・交通課 所属 35050000 建設交通部 都市・交通課 所属 2 協議 2 協議 2 協議 35050000 建設交通部 都市・交通課 所属 2 保証 第2 会計情報 款 02 総務費 項 01 総務管理費 目 10 交通対策費 会計 01 一般会計 決算付属資料 80 計画期間 開始年度 令和元年度終7予定年度 令和6年度 関連計画名 福知山市地域公共交通計画、福知山市地域公共交通再編実施計画 R4現在の状況 継続中根拠法令等 道路運送法 2 市単独事業 口内部庶務的事業 口その他 ()) 関連事業 公共交通維持改善事業、有償運送運行事業 事業区分 口 法定受託事務 口 国府補助事業 ② 市単独事業 口 内部庶務的事業 口 その他 ()) 関連事業 公共交通維持改善事業、有償運送運行事業		頁												
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和6年度	関	連計画名	福知山市地域公	公共交通計画、福	知山市地域	公共交通再編	実施計画R	4現在の状況	卍 継続中	Þ
根拠法令等	道路運送法	;												
事業区分	□ 法定受	託事務 🗆	国府補助事業	☑ 市単独	事業	□ 内部	部庶務的事業	単 口 その	他	()
関連事業	公共交通維	持改善事業、有何	<u>賞運送運行事業</u>											
事業基礎情	 報													
(施策実現に向けて		交通空白地、交通不便地等において、地域が主体となる新たな交通モデルとして、乗合タクシーの導入実証実験を実施し、持続可能な生活移動手段の確立を目指												
対象者	デマンド型類	乗合タクシー利用	者				対象者数	11	0	単位は	うたりコスト		19.4	
実施方法	□ 直接実	施 □ 業務	務委託 □	指定管理	Ø :	補助金交付		その他	()
委託先·実施主体等	下豊富北部	3地域デマンドタク	シー運営協議会											
	•下豊富北部	部地域 姫髪を					ったため、事	前合意に基づ	づき検証道	重行取りやる	<i>(b</i>)			

139 デマンド型乗合タクシー運行事業費補助金

主な業務内容

Ⅲ 予質勘行状況

主な支出に係る 業務内容と経費 支出に係る主な費目

負担金補助及び交付金

<u></u>		予算執行状	<u>况</u>											
	į	玄 分	I	R2(評価前年	F 度)		R3(評価年	度)		R4(本年)	E)	R5(要	求年度)	
	1	当初予算			976			691			1,952			651
予	2	補正予算			0			0			0			0
算情	3	繰越予算			0			0			0			0
報		前年度繰越			0			0			0			0
		次年度繰越			0			0			0			0
	小詞	th(1)~(3)			976			691			1,952			651
予	1	一般財源			488			691			0			326
算	2	国支出金			0			0			0			0
財源	3	府支出金			488			0			975			325
内訳	_	地方債		0				0			0			0
D/\	-	その他特財						0			977			0
決	1	7,070713130			0			△ 132						
算	-	配当予算			976			559						
決算情報	3	執行額			333			139						
	_	執行率			34.1%			24.9%						
人概	(1)	従事職員数 (正職員 / 非常動爆託職員)	0.45	/	0.00	0.25	/	0.00	0.25	/	0.00	0.00	/ (0.00
工算	2	概算人件費			3,600			2,000			2,000			0
卜 ·	算執	タルコスト _{行額+概算人件費})			3,933			2,139			2,000			0
		6× 10 m 4+ 0.1												
(N		な利用特財 1年度実績値)	特財名称				種類			実績金額		決算付属資料		頁

成果実績	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
(アウトカム)	新たな移動手段の	の導入・試行件数	件	2	/	2	9	/	2	10	/	6	/	6	6
実績/目標	乗合タクシーの:	本格運行数	件		/			/		0	/	2	/	1	
	指標		単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動宣籍	1便当たり乗車ノ	人数	人	1.6	/	1.5	1.1	/	1.5	1.2	/	1.2	/	1.5	1.5
活動実績 (アウトブット) 実績/計画 -		単位あたりコ	スト		189.9			302.7			115.8				
					/		18	/			/		/		
		単位あたり二	コスト												

☑ 事業の見直しなし

□ 廃止/休止

(統合事業名: —

□ 現状維持

□ 他事業を統合

VⅢ 予算反映結果

予算反映結果

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必要性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた ・民間事業者や市民が自ら実施するできない事業か	また、実施後においても、実証実験の継続要件において、稼働率(稼働便数/設定便数)	
	・目的・目標の達成手段として適切で 優先度の高い事業か		☑ 高い
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	乗合タクシーの運行にあたっては、年間の乗合率(利用者数/稼働便数)1.2以上、収支率 (収入/経費)30%以上の基準を設定し、基準に満たない場合は、事業継続を行わないこ ととしている。	
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか		□ 低い
	・成果目標は理にかない、実績は適切 把握・測定されているか	可に 乗合タクシーの本格運行に際しての事業継続基準を設けており、基準に達しなかった姫髪 タクシーについては、R3.9にて事業中止とした。	
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか		
	・先行事例の分析や外部資源の活用 十分行われたか		
	便地における生活移動手段の確保を	『行を委託することにより、既存公共交通事業者との競合を防ぎ、高い水準の安全性や品質の移送サー 「図ることができる。 女の需要に対しても効率的に対応でき、また、ドアツードアサービスにより近いものとなるため、高齢化が。	
定性的な面も	有効性が高い。		
含めた自己評価 及び現状の課題	交通不便地等は、過疎高齢化等の均	里由により、移動需要がそもそも少ない場合が多く、乗合をいかに確保していくかが課題となる。	
	* 1 * 0 * T * 1 * 1 * 1 * 1 * 1 * 1 * 1 * 1 * 1		1.4. = 0.0 =
	導入前の需要調査において、正確な ネートを行い、乗合率を確保していく。	実数を把握し、過剰な設定便数とならないよう計画を立てたうえで、地域組織が中心となってニーズをま 必要がある。	とめ、乗合のコーティ
改善策			
VI 二次評価(:	」 事業所属外による他部署部	平価)	
事後評価コメント		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
 VII 評価をふまえ	 た次年度事業方針		
, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	方針区分	評価を踏まえた見直し内容	
	□ 事業の見直し		
担当課の 事業の見直し	□ 統合/組換		
及び 予算要求方針	□ 廃止/休止	R4.12に運行開始した北陵地域乗合タクシーの実証実験を継続して実施する。	
	☑ 事業の見直したし		

☑ 予算縮減

) 口 他事業へ統合

(統合先事業名: —

口 予算拡充

福知山市 令和4年度事務事業評価シート | 事業属性

(単位:千円)

事業名	有償運送運	行事業										事業コート	120108			
政策体系	基本政策	1 市民一人ひと	りが、ま	きちづくりの	の担い手となり、	ほど	よい力加減で	で助け合うまち		政策目標	2 持続	性のある私	多動手段の	准保		
以来评求	施策名	1 日常の生活ニ	ニーズに	応じた外	出・訪問サービ	スの	確保					施策コート	121			
事業担当	所属	35050000 建設3	を通部	都市·交通	通課					所属長	足立 譲	治				
会計情報	款	02 総務費	項	01 総	務管理費	目	1	0 交通対策費		会計 0	一般会	計 決算·	付属資料	8	80	頁
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予	定年度	令和8年度	関	連計画名	福知山市地域公共交通	五計画、福	知山市地域公共	共交通再編写	実施計画 F	R4現在の状況	兄	継続中	
根拠法令等	道路運送法															
事業区分	□ 法定受	託事務 ☑	国府補	助事業	□ 市単独	事業	□ 内部	『庶務的事業	□ その)他 ()
関連事業	市バス運行	事業、公共交通総	<u>推持改善</u>	事業、乗	合タクシー導入	モデ	ル事業			•						

事業基礎情	報							
事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)							-等の公共交通機関が	
対象者	自家用有償運送利用者数			対象者数	19,944	単位あたりコスト	0.5	
実施方法	☑ 直接実施 □ 業務	務委託 □ 指定	至管理 ☑ 補助金	交付 🗆	その他 ()	
委託先·実施主体等	福知山市有償運送運営協議	会、各自家用有償運	送実施団体					
事業概要 (箇条書き)	・有償運送運営協議会の開係・福祉有償運送実施団体活動・交通空白地域移送サービス	動事業補助金の交付		金交付 □ その他 () 主な業務内容				
	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容			
	報酬	224	有償運送運営協議会委	員報酬				
主な支出に係る	役務費	10	郵送料					
業務内容と経費	負担金補助及び交付金	6,743	交通空白地域移送サービ	ごス事業費補助:	金、福祉有償運送実施団]体活動事業補助金		

Ⅲ 予算執行状況

		区分		R2(評価i	前年度)		R3(評価年	度)		R4(本年月	E)	R5(要	求年度)	
	1	当初予算			3,440			8,002			11,607			6,350
予	2)補正予算			0			0			0			0
算情報	3)繰 <mark>越予算</mark>			0			0			0			0
報		前年度繰越			0			0			0			0
		次年度繰越			0			0			0			0
	小	計(①~③)			3,440			8,002			11,607			6,350
予	1				1,363			1,645			2,616			1,600
· 算 財源	-)国支出金			0			3,037			2,283			0
源	-)府支出金			0			282			480			0
内訳	4)地方債			0			0			3,700			0
B/\	(5))その他特財		2,077 △ 160				3,038			2,528			4,750
а т	1)流充用額			△ 160			0						
算	2	配当予算			3,280			8,002						
決算情報	3	執行額			3,012			6,977						
180		執行率			91.8%			87.2%						
人概		(正職員/非常動嘱託職員)	0.50	/	0.00	0.45	/	0.00	0.45	/	0.00	0.00	/ 0.	.00
工算	2)概算人件費			4,000			3,600			3,600			0
		タルコスト (行額+概算人件費)			7,012			10,577			3,600			0
	_	4. 7.1 00 44 0 1		有償運送	運行事業(地方創生	推進交付金)		総務費国庫補助]金		2,9	23	16	
		な利用特財 1年度実績値)	特財名称	有償運送	運行事業基金繰入(過疎)	種類	基金繰入金		実績金額	2,9	24 決算付属資料	38	頁

	指標		単位	R1		R2			R3			R4		最終目標	
	福祉有償運送利用者数		人	0	/	0	18353	/	30000	19021	/	30000	/	20000	30000
実績/目標	交通空白地有償	質運送利用者数	人	0	/	0	1463	/	3000	2125	/	3000	/	3500	3000
活動実績 (アウトプット) 実績ノ計画	指 標		単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
	補助対象事業者数(福祉)		団体	0	/	0	4	/	8	8	/	8	/	8	8
		単位あたり=	スト					753.0			872.1				
	制度利用団体数(空白地)		団体	0	/	0	20 2	/	2	3	/	4	/	4	4
	単位あたりコスト						1506.0			2325.7					

項目	ア 未 15 3 71 (あいによる日) 計一個) 評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度									
	ナロル II 人の ー ・ がた II で 1	 実施団体が有償の運送を行うための必要な法定手続きとして、有償運送運営協議会で届	に対する具態度									
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	け出内容の協議を行った。										
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か											
	・目的・目標の達成手段として適切で、		☑ 高い									
	優先度の高い事業か	補助金の支出にあたっては、領収書等の関係書類を精査し、適正な補助金額を算定し										
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	<i>t</i> =。	□ やや高い									
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い									
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が		□ 低い									
	施されているか	利用実績の測定にあたっては、各団体から提出された関係書類を精査し、正確な実数を										
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	把握することに努めた。										
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか											
	・ ・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか											
	障害等の理由によりバス・タクシーによる移送か	 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・										
		有償運送では、これまでの2団体(地域)に加え、新たに令和3年7月から大江地域で運行を 一等の輸送によることができない場合の重要な移動手段として定着しつつある。	:開始し、3団体合計									
定性的な面も 含めた自己評価 及び現状の課題	自家用有償運送の対価は、道路運送法により営利性が認められない範囲と定められているため、実施団体においては運営の経済的な面で脆弱性を有することが 多い。特に近年の燃料価格の急騰や、新型コロナウイルス感染症拡大等の社会情勢の影響を受けやすい。											
	多い。特に近年の派科画権の志騰で、新空コロデライルへ恋朱正弘入寺の社芸情労の影音と受けてすい。 また、対価が営利性がなく安価であるがゆえに、既存公共交通事業者との競合が生じないよう、法に基づいた運行の範囲を遵守していく必要がある。											
		を継続しつつ、社会情勢の急変等の場合においては、国・府の状況を見ながら、緊急支援を										
	運行開始や届出内容の変更にあたって開催する運営協議会では、関係者による適正な審査・協議を確実に実施し、適切な運行内容・安全体制の確保を行う。											
改善策												
\/ - 冷誕伍(国	 実所属外による他部署評価)											
VI 一次的 III ()	アネバ 尚がによる他の名の 曲)											
事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)											
VII 評価をふまえ I	た次年度事業方針	\$										
	方針区分 □ 事業の見直し	評価を踏まえた見直し内容										
担当課の 事業の見直し	□ 統合/組換											
及び 予算要求方針	□ 廃止/休止											
	☑ 事業の見直しなし											
L Ⅷ 予算反映結	<u> </u>											
	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□ 予算拡充 ☑ 予算縮減										
予算反映結果	 □ 他事業を統合 (統合事業名: —) □ 他事業へ統合 (統合先事業名: —)									